

図書館だより

脇町高校図書館



2023.6月号

開館時間:8:30~17:00 貸出冊数:図書3冊/雑誌2冊 貸出期間:1週間

●この本の感想を教えてください！

『みえるとかみえないとか』 おすすめ度★★★★★

自分では当たり前と思っていることが、そうではない。また違った世界が見えてくる本です！

『はたらく細胞』 おすすめ度★★★★★

物語が、体の中で起きていることが多く、実感しやすい！また、難しい単語でも、解説が載っていて、とても理解しやすい！細胞の勉強をしたいという人、この本を読んでみて！

『本土決戦 四国防衛軍 上巻』 おすすめ度★★★★☆

当時の徳島の重要だった場所などが、よく分かった。下巻がないのが残念。

『日本の戦跡を見る』 おすすめ度★★★★★

ひっそりと保存されている戦跡を見て不思議な気持ちになった。

『高校の勉強のトリセツ』 おすすめ度★★★★★

苦手な読書も、マンガが間にあるので読みやすかったです。

『ある男』 おすすめ度★★★☆☆

はじめは、疑問点がたくさん出てくる。「人生」とは何か？物語は中盤からおもしろくなってくる。気軽に読んでほしい。



貸出時に渡している「返却期限票(この日までに返してね!が書かれている細長い紙)」に

「この本の感想を教えてください!」として、本の感想を書いてもらうスペースを設けています。

本を読んで他の人に紹介したい!と思ったら、ぜひコメントを書いて、本と一緒に返してください。

今後も引き続き紹介していきたいと思います。

●県立図書館から本の取り寄せができます

課題研究等で専門的な本が必要な人、学校の本だけでは物足りない人、県立図書館の本を利用しませんか？学校図書館を通して約120万冊の蔵書にアクセスできます。利用したい人はカウンターで申し込んでください。

- ・ 申し込み後、1週間程度で届きます。
- ・ 貸出期間は2週間です(予約がなければ1回延長可)。
- ・ 取り寄せできるのは県立図書館の図書、雑誌、絵本、紙芝居です。

利用は無料です!!



●新着図書案内

* リクエスト受付中 * 用紙は図書館カウンターにあります!

内 容	書 名	著 者 等
哲学	SNSの哲学 リアルとオンラインのあいだ	戸谷 洋志//著
	自分疲れ ココロとカラダのあいだ	頭木 弘樹//著
地理	一度読んだら絶対に忘れない地理の教科書	山崎 圭一 // 著
法律	僕らが生きているよのなかのしくみは「法」でわかる	遠藤 研一郎//著
SDGs	SDGs〈持続可能な開発目標〉	蟹江 憲史//著
社会保障	15歳からの社会保障	横山 北斗//著
LGBT	みんな自分らしくいるためのはじめてのLGBT	遠藤 まめた//著
ジェンダー	10代から知っておきたい女性を閉じこめる「ずるい言葉」	森山 至貴//著
進路	体育学部・スポーツ科学部	山下 久猛//著
	偏差値45からの大学の選び方	山内 太地//著
物理	一度読んだら絶対に忘れない物理の教科書	池末 翔太 // 著
化学	一度読んだら絶対に忘れない化学の教科書	左巻 健男 // 著
起立性調節障害	うちの子が「朝、起きられない」にはワケがある	森下 克也//著
まんが	戦争は女の顔をしていない 4	小梅 けいと//作画
	私のかんむくガール	らせんゆむ//著
	10代のためのもしかして摂食障害?と思ったときに読む本	おちあずけ//著
	マンガAPD/LiDって何!?	きよこ//著
	きつおんガール うまく話せないけど、仕事してます。	小乃 おの//著
敬語	「言いたいこと」から引ける敬語辞典	西谷 裕子//編
日本の小説・ノンフィクション	物語の種	有川 ひろ//著
	岸辺露伴ルーヴルへ行く	映画ノベライズ 荒木 飛呂彦//原作
	今夜、もし僕が死ななければ	浅原 ナオト//著
	ハヤブサ消防団	ドラマ原作 池井戸 潤//著
	十月の終わりに、君だけがいない	いぬじゅん//著
	旅する54字の物語	氏田 雄介//編著
	54字の百物語	氏田 雄介//編著
	晴れ、時々くらげを呼ぶ	鯨井 あめ//著
	5分後に意外な結末 ex 亜麻色の糸で紡がれた物語	桃戸 ハル//編著
	5分後に意外な結末 ex 緑に覆われた世界の出来事	桃戸 ハル//編著
	どうぞ愛をお叫びください	武田 綾乃//著
	薬屋のひとりごと 13	日向 夏//著

☆「一冊でわかる〇〇史」、今月はタイ史と東欧史が入りました。以前入荷した分については、新着図書コーナーになれば各国史の棚に置いています。そちらもぜひ読んでみて!

☆1年生アンケートで図書館に置いてほしい本として書かれていた以下の本、すべて入りました!!
 「作家刑事毒島」「もしも徳川家康が総理大臣になったら」「愛じゃないならこれは何」「青くて、溺れる」
 「あやうく一生懸命生きるところだった」「死にたいけどトッポッキは食べたい」